



# 守山

株式会社みらいもりやま21

## 「住み良さ日本一のまち守山」実現に向け まちを刺激する、創意あふれる仕掛けを次々と実行。



左) 教育施設と併設された市民ギャラリー「あまが池プラザ」 右上) 古い民家を改修し、飲食店、展示室、貸室を整備した「うの家」 右下) 約5万人が参加する「もりやま夏まつり」

京都、大阪のベッドタウンとして近年、人口が増加する守山市。

まちづくり会社「みらいもりやま21」は中心市街地活性化協議会の事務局として、まちなかの活性化を目指す。

熱意あふれる行動力と従来の発想にとらわれない企画力で、  
市民、商店、団体を盛り立てる活動を次々と実行し、注目を集めている。

活性化を目指すまちづくり会社  
行政と市民の間の橋渡し役

「みらいもりやま21は、どんな目的で設立された会社ですか？」

大崎 行政が実施する「都市インフラの整備」や「行政サービスの充実」と、市民や事業者が実施する「賑わい創出の取り組み」をサポート、補完、調整する「まちづくり会社」として、2008年9月に設立しました。設立以来、固定観念に縛られない民間企業ならではの発想力や行動力で、行政と市民の橋渡し役を務め、守山市の活性化のために奮闘しています。

発信力のある新企画を  
先進的なイベントで  
まちなかに活気

「具体的にどんな活動をされてきたのか教えてください。」

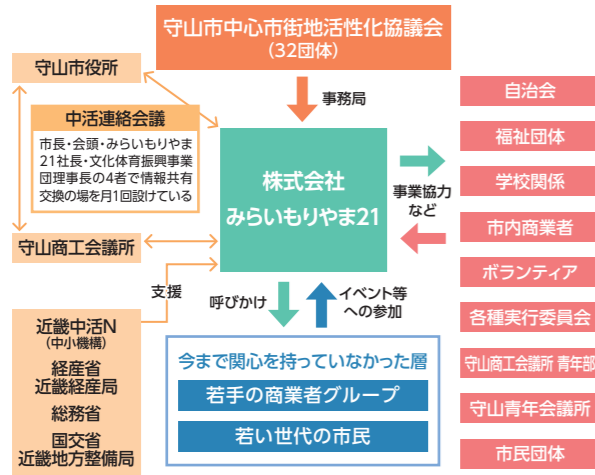
石上 最初の3年間は、各地の視察や講師を招いた勉強会、近畿で中心市街地活性化に取り組む地域の担当者との情報交換などを行い、まちづくりの先進事例を学び、ノウハウを吸収することに重点的に取り組みました。

同時に、守山ブランドの開発にも着手。モリヤマメロンのピューレを使用した「メロン館」などの館シリーズをはじめ、「メガネ拭き」、守山のご当地キャラ「もーりー」のキャラクターグッズなど

新たに商売したいという方にお貸しする  
というサブリース事業なども今後の  
具体策の一つです。

「最後に大崎社長から、今後の抱負をお願いします。」

大崎 今の守山は、市役所、商工会議所、当社が一丸となって各種事業を進めていける環境にあり、大きな強みだと思います。当社は中心市街地活性化協議会の一員として、まちなかの活性化に取り組むという使命を第一に果たしていくのはもちろん、市全域の活性化を常に視野に置き、「住み良さ日本一のまち守山」をつくるお手伝いをしていきます。そのためにも、事業の拡大や業態の変更も必要に応じて実行し、持続的な経営を実現していきます。



のオリジナル商品を女性スタッフが中心となって企画開発しました。また、10年6月には守山市の恒例イベント「ほたるパーク&ウォーク」に合わせ、まちバリエーション「ほたる探検紀行」を開催、11年1月には商店主が講師となって専門知識やコツを紹介する「まちゼミ」をスタートするきっかけを作りました。三事業とも県内初の試みでした。12年からは、市より指定管理の委託を受け、歴史文化まちづくり館「守山宿・町家うの家」と中心市街地活性化交流プラザ「あまが池プラザ」の管理運営を行うようになり、これが現在の柱となる事業になっています。

また、10年以來、市内各所でさまざまな音楽コンサートなどのイベントを開催してきました。その数は現在では年間100本にもなります。その他、「もりやま夏まつり」など、年中行事として開催される恒例イベントの実行委員会に参加し、盛り上げに協力してきました。

### 主役である市民をお手伝い がんばる人を積極的に支援

「店舗、商店街、既存団体との協力はうまくいきましたか？」  
石上 まちづくりの主役は市民であり、市民が自分たちのために、自分たちの手でやるものです。当社が主役になることがないように心掛けてきました。

行政が行う支援は、どうしてもまんななく平等に行き届く形になります。しかし、私たちは誰に対しても同じようにお手伝いするのではなく、がんばっている方、意識改革を行った方こそ積極的に応援し、対等な関係で一緒になって事業に取り組んできました。

「あまが池プラザはたいへん人気の施設になっているそうですね。」

石上 あまが池プラザは、小学校や幼稚園などの教育施設と一体的に整備された全国でも珍しい施設です。夜間利用枠も含めて、全体で貸しスペースの7割が埋まる、非常に高い稼働率になっています。

良かったと思うのは、「このまちで動きたい」という、いわゆる地域のプレイヤーが、市外からも次々集まってくれたことです。

「これまでの活動の中で気付いた守山の課題などがあれば、教えてください。」

石上 全国的には65歳以上の割合が増加し、高齢化が進んでいます。実は守山市では30代、40代のニューファミリー層の住民が急激に増えています。ただ、彼らは仕事も買い物も友人と遊ぶのにも、京都、大阪に出ています。地元への期待が小さい彼らを、まちづくりにどうやって巻き込んでいくかが、私たちの大きなミッションだと認識しています。

### 経営基盤を強化し持続させていく まちなか活性化の使命を果たす

「石上さんは、経済産業省から「まちづくりの専門家」として15年度のタウンブローカーに任命されました。これから取り組みたい具体的な事業プランがあれば教えてください。」

石上 7年間活動し、地元の方にも少しずつ信頼いただけるようになってきました。今後は、まちづくり会社として地域に貢献すると同時に、持続的な企業としての収益性も考えていく必要があると考えています。空き店舗をオーナーから一旦、当社がお借りし、守山で

株式会社みらいもりやま21  
守山市守山1丁目8番7号  
http://moriyama21.jp/



マネージャー  
石上 僚氏



代表取締役社長  
大崎 裕士氏